

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称)	
講演者	:有永 洋子
所属	: Ai 国際医療研究所
テーマ	:呼吸と運動で乳がん関連リンパ浮腫を緩和する～無作為化比較試験と文献レビューを通して～
担当者氏名: 佐藤 富美子 教授	所属: 東北大学大学院がん看護学分野
内線: 7926	Email: fsato@med.tohoku.ac.jp
1. 実施年月日:	
令和 4年 1月 14日	
2. 開催場所:	
ZOOM	
3. 関連分野:	
乳がん、セルフケア看護、ランダム化比較試験	
4. 対象者:	
一般の方々、医療従事者、学生等、どなたでも	
5. 参加人数: (お分かりの範囲で内訳をお知らせください。教員、学生など)	
26名 (教員3名含む)	
6. 成果:	
<p>今回の講演会は、コロナ禍のためオンラインシステムを利用した講演会となった。講演者は、本学の博士課程の修了生であり、研究者コースに在籍していた。本日は、これまで講演者が取り組んでこられた乳がん関連リンパ浮腫に対して乳がんセルフケアを高める有効なケアについてご講演いただいた。</p> <p>講演では、乳がん関連リンパ浮腫の概要について説明があり、メタアナリシスを含むランダム化比較試験の文献検討結果から導き出したケアとして呼吸法を取り入れた運動ケアであった。そのケアの実践の実行可能性についても議論がなされた。介入群においてリンパ浮腫は改善していたが、興味深い結果として介入群と対照群のどちらにおいてもセルフケア能力が向上していた。この結果は、対照群も定期的な測定によって数値が可視化されたことによって、ケアしたことが推測されていた。</p> <p>質疑応答では、バンテージ法の効果について、アウトカム測定について、セルフケアを高めることには何が関連していると思うかについてであった。</p> <p>本講演では、研究知見に基づく実践可能なケアが模索されたため、エビデンスベースドナーシングについて参加者で共有できたことが成果である。</p>	